



オナホ扱いされるも
抗うすべはない

ならず者たちに犯されて
中年教師と結婚…?

引きこもりだった私が
ならず者たちに犯され
イケメン彼氏を捨てて
中年教師と結婚した理由

サークル:村の生き残り

基本CG15 本編131枚 総数286枚

引きこもりだった私が
ならず者たちに犯され
イケメン彼氏と対峙して
中年教師と結婚した理由

～あらすじ～

日下部 ほなみは進学した直後
いじめを受け退学してしまう。
その後、部屋に引きこもりがちになる。
数年が経ち、ほなみは大分前向きになり
通信制の学校に通うことにする。
しかし、そこで待ち受けていたのは
ならず者、滝沢 龍一。
そして滝沢に弱みを握られた
中年教師、原田 邦夫だった。



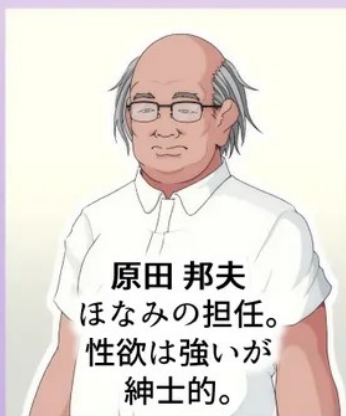
日下部 ほなみ

少し気が弱いところがあるものの
穏やかで優しい心の持ち主。
目鼻立ちが整っていてスタイルも悪くない。
学校でいじめを受けて退学。
部屋に引きこもりがちになっていた。



道明寺 清彦

日下部 ほなみの
幼馴染で恋人。



原田 邦夫

ほなみの担任。
性欲は強いが
紳士的。



滝沢 龍一

ゴロツキ。
ほなみの
クラスメイト。



浜崎 亜里沙

滝沢 龍一の女友達。
滝沢と共に
学校に入学する。

駅前に来た
新しいお店そこが結構
おいしいと評判なんだ

来週あたり
一緒に行こうよ
おごるからさ

あ：そこ知ってる
お洒落な雰囲気
のお店だね

悪いよ

いいって
バイト代が入った
ばかりだし




日下部ほなみは
俺、道明寺清彦の
幼馴染で恋人だ。

中学の時に
俺から告白して
交際はスタートした。

高校に進学する時
通う学校が
別々になったけれど
俺たちの心は一つだ。
そう思った。

でも俺は
彼女の変化に
気がつけなかった。





高校に入学して
しばらく経ってから
ほなみは不登校になった。

やがて休学し
そして退学。

詳しい経緯は分からないが
ほなみは同性に
イジメられたようだ。

それ以来、彼女は
部屋に
引きこもりがちに
なった。

俺に出来ることは
メールのやり取りくらい。
あの時は本当にやるせなかつた。

それから数年が経ち
彼女は大分、前向きになった。
時間が問題を解決してくれたのだ。
今ではこうして外に出て
デートも出来るようになった。

あ、あの…
えーっと

うん？

きよ、今日さ
家に両親
いないんだよね
遊びに…来ない？

……
……
……
……
……
……
……
……
……
……



キヨくんのが
挿ってるよ

ほなみと
繋がってる

ああ
んああ

彼女とこうするのは
何度目だろうか。
俺の心は幸せな気持ちで
包まれる。

ズボボ



あんっ
あ

くっ…
今日も
駄目そうだ

パコッ

キヨくん

パコッ

ん…
キヨくん

でも、そんな幸福も
徐々に焦りへと
変わっていく。



あつ 抜け
ちやつた

ごめんまた
折れちやつた

そっか…
口で大きく
しようか？

それとも
手で
やろうか？

いや、今日は
もう
やめておくれよ

う、うん

又ポッ

俺が初めて
覚えた自慰行為。
それは床に性器を
こすりつける方法。
いわゆる
床オナだった。

体重を乗せて
強い力で
ペニスを刺激する
床オナに比べて
女性の膣で
得られる刺激は
弱い。

俺は女性の膣で
射精することが
困難になっていた。
膣内射精障害と
いうらしい。

気恥ずかしさから
このことは
ほなみに
説明していない。


ガッ



セックスは
うまくいかない。
でも、こうやって
一緒にいるだけで
俺は幸せだ。

私、エッチよりも
腕枕のほうが
好きかも

そっか



はあ…
もうすぐ入学かあ
なんだか不安に
なってきたやつた

近頃、彼女は
高卒資格を
取得するために
通信制の学校に
行くことにしたのだ。
よい決断だと思った。

先生や
クラスメイトと
うまくやって
いけるかなあ

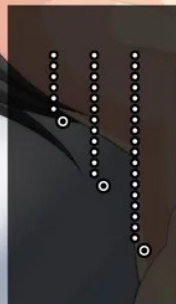
通信制の
学校だし
ほとんど
自宅学習じゃ
ないのかい？

うん、基本的に
レポートを書いて
提出するんだけど

スクーリングといって
週に1回学校に行って
授業を
受けるんだって

へえ
そうなんだね
レポートで
わからないところが
あったら
遠慮なく聞いてよ

ありがとう♡



今日は初めての
スクーリング。

授業を行うこの建物は
平日は全日制、日曜は通信制の
校舎として利用されている。

入学式の際に
顔を合わせた新入生たちは
いろんなタイプの人がいた。

年齢は幅広く
現役に見える少年少女から
中年女性までいた。

働きながら進学する道を選んだ人。
進学しなかった人。あるいは私のように
途中で学校を辞めてしまった人。
皆、一様にいろんな事情を
抱えているのだろう。

ただ――



んでさく言ってやったの
「あなたの股は
男がきたら自動的に開く
自動ドアかっつーの」

こういう
人たちは
苦手だ…。

ひやははッ！
そりや適格な
例えだわ

そろそろ
授業が
始まる。

久々の授業で
懐かしい感じがした。

〜である
からして

この人は私の担任で
原田邦夫先生という。
担当は数学だ。

キンコン
カンコン

授業はここまで
レポートの
提出期限に
気をつけるように

今日の授業はこれで終わり。
少し疲れた。



ねえあんた
確か
日下部さん
だっけ？

あ…はい
そうですけど

年が
近そうだから声を
かけて
みたんだけど

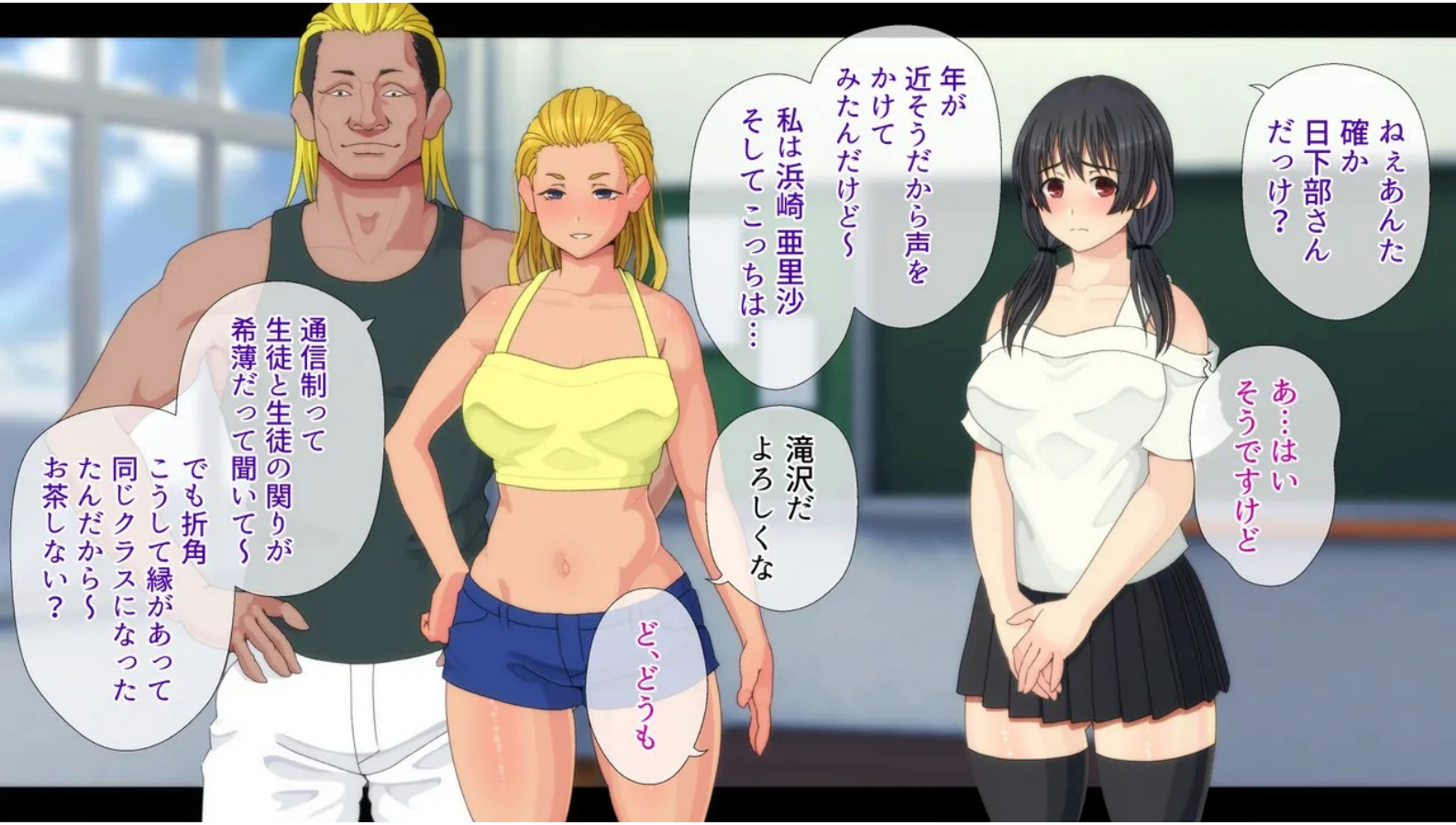
私は浜崎亜里沙
そしてこっちは…

滝沢だ
よろしくな

ど、ど、どうも

通信制って
生徒と生徒の関りが
希薄だって聞いて

でも折角
こうして縁があって
同じクラスになった
たんだから
お茶しない？



親睦会って
やつだよ

どうしよう。
正直、行きたくない。
だって絶対に共通の
話題なんてないだろうし。

週一回とはいえ
これからスクーリングで
何度も顔を合わせる人たちだ。
無下にするのは
よくないかもしれない。

ちよっと
無理をしても
親睦会とやらに
参加すべきだろう。



ここは学校から
比較的近い
ファミレス。

とりあえず
飲み物を頼み
他愛のない会話をした。

私が会話に
ついていけず
置いてけぼりになる。
そう予想していたが
彼らは私に話を
合わせてくれた。

浜崎さんはスマホで
動物の動画を
見るのが好きで
お気に入りの動画を
見せてくれた。

外見で人を
判断してはいけない。
そう思った。



あれ？

私が注文したホットコーヒー。そのカップの底にやたらと砂糖が残っている。溶けなかった？いや、それ以前にこんな大量に入れていない。

そろそろ帰るか
日下部さん
ダチが車を回して
くれるからよ
家まで
送っていいこうか？

私は…一人で…
帰れます
なに…これ？

ん？
日下部さん
どしたの？
少しふらついて
いるよ

.....

あれ…
私、どうしたんだっけ？
ファミレスに行っ
てそれから…えっと。

ファミレス？

ファミレス





なんだろうか？
何かがおかしい。

スプツ
グイ

股間に感じる
異物感。
濡れた粘膜が
擦れる音。
獣のような
息遣い。

はあ

はあ

ジュプツ

…ツ

んツ

ズイッ

嘘…これって
まさか…。

あ、ほなみちゃん
起きたら？

ガブッ
グイ

ああ…
たまんね
マジやっべ

混乱しながらも
この状況を考える。
ここはどこだ。
何故こうなった。

ジユブツ

ひい!?
なにこれ…
なんで…!?

ガブッ

ひい

いや
それよりも
拒絶しなきゃ。





やめて
ください...

なに言ってるんだよ
誘って来たのは
そっちだろーが

ヌプッ

そんな覚えは全くない。
妙な気だるさが
残っている。
レストランで
あったことを思い出した。
動物の動画で
私の注意を逸らして
飲み物に何かを盛った。

ツ

ジュプッ

ひあ
わ、私が...
誘った?

ほなみちゃんって
物忘れが
激しいんだね♥

ヌイッ

あう

そう考えると
合点がいく。



あゝ結構いいわ
このマンコ

しばらくの間
俺や俺のダチの
オナホになつて
もらうからよ
よろしく頼むわ

ガプツ

別にいいじゃらん
彼氏がいてもさゝ
結婚してる
訳じゃないんだから

それに
さつきからさゝ
日下部さん
エロい声だして
悦んでるじゃん

ひいん
くう

んツ

あんツ

な、なにを
言つて
いるんですか
いい加減に
してください

今すぐに
やめて
私、彼氏が
いるんです

ガプツ

そ、それは…

ハァ
ハァ
ハァ

すぐに萎えてしまう
キョクんのペニスとは違う。
熱くてガチガチに
勃起したペニス。
凶器みたいなモノが
私の膣で激しく
ピストン運動している。

ズツズン
グッ

ジユプツ

ズツ

無理やり
犯されているにも
関わらず
私は性的な快楽を
感じていた。

ッ

でも、こんなのは
間違っている。
私の理性が
そう言っている。



ズッ

ズッ

どうよ
俺のちんぽ
しかも
生ハメだぜえ

それだけじゃねえぜ
今から思いつきり
中出しキメて
やるからよ

え…嘘!!
ゴムして
ないの!?

なッ!?
絶対にダメ!
お願いやめて

ひい



やめろってよ
亜里沙
どう思う？

ヌプッ

え!? そんなの
覚えてないし
そうだったとしても
数百円じゃないのツ

あゝゝゝツ!
やつべ!
もう出るわ

さっきの
ファミレスでは
ウチらが
おごったしゝ

中出しくらい
よくならい?

それもそうだな
ギブアンド
テイクってやつだ

ジユプツ

ヌイッ

ひい!?



ピクッ

あい
ああ
ああ
ああ
!!?

ピ
ミ
ル
ル
ッ

ピクッ

ピクッ

おお
おお
おお
お
お
お
お
!!?

嘘
お嘘
でしょ
今、
ぴゅ
って…

ぴゅ
っ



そいつらも
抜いて
やってよ

なんで私が
そんなことを!

うう...もう
帰ります

今日は帰って
いいけどさ

他にも性欲を
持て余している
うちの仲間が
いるんだよね

どうして...
こんな...

ふうよかったぜ
なかなかいいマンコ
してるじゃねえか

あんたさつき
彼氏がいるって
言っていたけれど
それって
道明寺清彦のこと？

あ!? それ
私のスマホ

彼氏の電話番号は
0×0(××××)
××××かあ

携帯にはロックが
掛かっていた
はずなのに!

ロックの暗証番号を
教えてくれたのは
ほなみでしょ
もう忘れちゃったの？

わ、私が…
そんなことを

全く覚えていない。
多分、半覚醒状態の時に
暗証番号を聞かれ
答えてしまったのだろう。

彼氏に黙って
おいてやるよ
だからお前は
俺らのホナホに
なるんだよ

うう…

脅しに加えて
無茶苦茶な要求。
強烈なプレッシャーが
私を苛む。

一体、私は
どうすれば
いいのだろうか。

……

数日後

呼び出されて
滝沢たちがヤリ部屋と
呼んでいる
マンションの一室に
私は出向いた。

あ、ほなみちゃん
逃げないで来たね
偉い偉い♥

今日は龍一に負けず
劣らずの屈強な男が
いっぱい来るから

.....

安心して
アンタ一人じゃ
荷が重いだろうから
私も手伝ってあげる♥



色々と考えた。でも解決の糸口が見いだせなかった。
キヨくんにはこのことを知られたくない。
それにこの事件が公になって学校に通い続けられるだろうか。



また学校をやめる。
それでは引きこもりに逆戻りだ。
それにお父さんとお母さんに
無理を言って払ってもらった
入学金や授業料が
無駄になってしまう。

おいーっす！

お、これが
新しいオナホ？

結構いいじゃん
遊んでない
感じがさあ

滝沢と似たような
強面、筋骨隆々の男たち。
その視線が
私に突き刺さる。

こ、こんな人数を
相手に
するんですか…

そだよ
まあ休み休みやれば
いいからさ





新しいオナホは
混むだろうから
俺は亜里沙でいいや

あゝ！
仕方なくウチのまんこ
使うみたいな態度は
流石にむかつく！

ぐう！
めい！

ぐう！

この新しいオナホ
なかなかいいぜえ

スッ

スッ

スッ

アッ

アッ

蛮行の最中
思い浮かんだのは
過去、体験した
はじめだった。

んっ

あん♥

~~~~ツ

ン

そして、それがエスカレート。  
はじめに発展して  
私は不登校になった。

今、いじめよりも  
酷いことをされている。  
しかし、あの時ほど  
嫌な気持ちになっていない。

高校生の頃、彼氏が  
いるという理由で  
ねたまれて同じクラスの  
女子からちよつとした  
嫌がらせをされた。

ズツ  
ズツ  
ズツ

いや、それどころか  
安堵している  
自分がいた。  
滝沢に犯された時も  
同じ感覚だった。

私はキヨくんとのセックスで自信を失っていたんだ。

キヨくんが萎えてしまうのは何故だろう。

ネットで調べた。しかし様々な原因が載っておりよく分からなかった。

だから私に女としての魅力がないのかもしれない。あるいは私の膣がおかしいのかもしれない。そう思った。

ぐほっ

グッ

アニー

アニー

アッ

アッ

アッ



ぬう!? たつぷりと  
出すぞ! 飲めよ

ビュッ

ビクッ

んぷう!?!  
~~~~ツ!!

やっぱツ!!
無茶苦茶出てる
ひううううう!!

故に、この蛮行で
私は女性として
何も問題がないと分かり
安堵したのだ。

新しいオナホに
ザーメンで
マーキングだあ

ドビュ

ビクッ

ビュル

おお!?



.....

あひい...
もう無理い

なんだよ
だらしねーなあ

まだ5人も
相手して
ねーじゃん

新しいオナホだ
乱暴に使って
壊すのも惜しい
今日はこれくらいで
勘弁してやろうぜ

アホッ



それじゃあ
亜里沙
悪いけどマンコ
かしてくれよ

あゝ
疲れたから
パルス

仕方がねえな
今日は
新しいオナホに
ぶっかけて
お開きにするか

ぶっかけ？

抜き足りない奴らが
自分でシコツて
お前にザーメンを
ぶっかけるって
ことだよ



マンコから
精液垂れ流して
エロいぜ〜

むしろ
助かったとすら思った。
疲れきった身体を
動かさなくて
いいのだから。

精液をかけられる。
それは気持ちが悪い。
けれど中出しまで
されているんだから
今更、何をやられても
一緒のように思えた。



ビュッ

ビュッ

ビュ〜ッ

ビュッ

出すぞ！
ほら出る！
マンコに
かけてやるぞ
ああ！！

目をつぶれよ
顔射して
やるからよお
んお！イクツ!!

え…？
あ!?!
ひい…



ドロ

~~~~~

ドロ

私は犯され  
穢されてしまった。  
しばらくは  
キヨくんと  
面と向かって  
話せそうにない。

そういえば  
ここに来る前に  
キヨくんから  
メールが来ていた。  
内容はデートの  
誘いだった。

引きこもり生活が  
長かったから  
週1回の学校でも  
疲れてしまっている。  
メールには、そう返事をする  
ことにした。

.....

ドロ

入学してから  
1ヶ月が経った。  
その間、何度も  
滝沢たちに  
呼び出されては  
慰み者にされた。

そんな状況でも  
学業を疎かにする  
訳にはいかない。

今日はスクーリングだ。  
滝沢たちも来ているだろう。

流石に学校では  
変なことは  
してこないだろう  
けれど…。



昼休み

あ〜かったりい  
俺みたいな人間は  
学校で勉強すると  
いうだけで拒絶反応が  
出ちまう

あ、そうだ  
例の教室で  
ストレス発散でも  
するか

ごめん  
ウチは今日  
パルス

なんだよ  
つれねえな  
まあいい

それなら  
例の教室に  
集合とだけ  
皆に連絡しといて  
くれね?

ういゝ

ほなみちちゃん  
昼休みちよつと  
つきあってくれね

あ：  
うん

3階に空き  
教室が  
あるんだよ

知っていると思  
うが通信の  
スクーリングでは  
3階の教室は  
使わない

人が来ないから  
のびのびと出来る  
そこに行くからよ

でも、そういう  
教室って  
施設されて  
いるんじゃない？

説明するのが  
面倒だ  
行けば分かる

.....

え…!?  
先生…

原田先生は  
紹介する必要ねえな  
あとはこの学校で  
知り合って  
ダチになった奴らだ

浜崎さんから  
連絡を受けたから  
鍵を開けて  
おいたけれど…

おうよ  
先生  
ご苦労さん





せ、先生がいるのに  
なんてことを  
言うんですか!?

さて本題だ  
俺たちは  
授業でストレスが  
溜まってんだよ

だからほなみちゃんの  
オナホまんこを使つて  
ストレスを発散しようと  
思つてよ

少し前に先生とは  
ダチになったんだよ  
だから、色々  
融通を効かせて  
もらうことになったんだ

…私は  
廊下で  
見張りを  
しているよ

おう悪いな先生  
今度、埋め合わせしてやんよ  
俺と先生はもうダチ  
なんだからよお



学校で  
こんな…

ひいあん

おいおい  
ほなみちやん  
あんま大きい声で  
喘ぐんじゃねーぜ  
ここは学校  
なんだからよお

ああ!?

くう

グイ

ずぼぼ

学校の教室で  
生ハメ出来るなんて  
たまんねえっす  
自分、滝沢さんに  
一生ついて行くっす

そいつは  
いい心がけだ

今日は普通のセックスじゃ駄目だ  
なんせストレスが溜まっているからよお

普通じゃ駄目？  
何を  
するんですか

ケツに  
ぶち込む

へ!?お尻に?  
そんなの嫌です

うるせえ  
オナホが口答え  
してんじゃねえぞ

ぐわん  
ぐわん



そおら

あがつ…!?  
ひぎいいいい

おいおい、さつきも  
注意しただろ  
うっせーぞ

先生が見張って  
いるとはいえ  
誰かがきたら  
どーすんだよ

おぼ

…抜いて…ください  
お尻をこんなふう  
に使うのは  
間違っている  
と思う…んぐう!?

!!!

真昼間の学校で  
まんことケツ穴にちんぽ  
ねじ込まれてる気分は  
どうだ？

あひいいいいッ!  
わ、わかりません  
考える余裕が  
ないですう



んほお!?  
おまんことお尻を  
同時に  
責められてるう

下からも  
突き上げて  
やるく

にち

にち

おほっ

おほっ

あく! ケツオナホも  
すげえいいぜえ  
やっぱり  
ほなみちちゃんつてよお  
オナホ適性高いわあ



休み時間は  
限られているし  
早々に  
終わらせてやる

ザーメンを  
ケツオナホに  
たっぷりと  
注いでやるからよお  
覚悟しやがれえ

あく俺も  
イキそうっす

みゃ

ごぶっ

ごぶっ

ひい!?

へへへ…  
ほなみちゃんは  
オナホだから  
中出しでいいよね?



出てるぞお!  
あくストレスが  
吹っ飛ぶぜえ

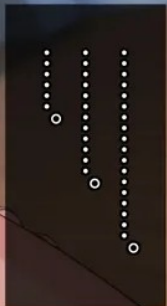
あひゃ〜!!  
中出し最高〜

ビクッ

ドゥドゥ  
ドゥドゥ

ビクッ

あ!?!  
熱いのが  
出てるツ  
うひうひうひうひ  
うううううう!!



休み時間も残り僅かだ  
さっくり犯して  
ぱっと中出し  
してやるからよお

初のアナルセックスを  
学校の昼休みに  
体験出来るとは  
思いもなかったぜ

がほ

がほほ

んぐうううう！  
また2本同時!?

！！

マンコよりも  
具合がいいかもしれねえ  
ハマっちまいそうだ  
んッ!? 射精するぞお

俺もイクぜ  
たっぷりと  
出してやる  
からなあ

ま、また出される  
もうやめて  
おマンコとお尻の中が  
精液でぐちよぐちよに  
なっちゃう

みゃ

びゅん

びゅん

そんな状態で  
この後の授業を  
受けなきゃ  
いけないなんて  
嫌だよお





射ッ精!!

くうううッ  
あ!! ああ!?

ビクッ

だ…駄目ッ  
我慢できないっ  
イク…イっちゃう

ビクッ

ドッ

ドッ



滝沢とその仲間の  
ペニスであれば  
当たり前の様に  
受け入れる。  
彼らの言うように  
精玩具のような扱い。

この状況は  
一体いつまで  
続くのだろうか。

はあ

ツ

はあ…

彼らが私の身体に  
飽きるまで  
だろうか。  
それは、いつなの  
だろうか。

ゴトネ

ゴトネ

男たちは欲望を吐き出すと  
そそくさと去っていった。  
ポケットティッシュで  
精液を拭い身なりを整える。

そうしていると  
見張り役を  
やっていた  
先生が教室に  
戻って来た。

すまない  
私は見て見ぬふりを  
するしかないんだ  
滝沢君には逆らえない

そろそろ  
昼休みが終わる  
授業に遅れない  
ようにね

…はい

おそらく先生も  
私みたいに  
脅迫されて  
いるのだろう。

……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……

それは先日の  
出来事だった。  
私の唯一の楽しみは  
休みの日に  
風俗に行くこと。

いつも本指名していた  
風俗嬢と連絡先を  
交換して店外でデート。

お酒を飲める店に行つて  
私は意識を失つた。  
飲み過ぎた訳ではない。  
恐らくは何か薬を  
盛られたのだろう。



意識が戻ると女性が私の上に乗っかっていた。先ほどまで一緒に居た風俗嬢ではない。私は彼女に見覚えがあった。

な、なんだこれは…？  
ここはどこだ？

あ、原田先生素面に戻った？

き、君は…  
浜崎くん!?

それにしても  
すげえ偶然だよなあ  
でも、まあ数やつてりゃ  
こういうこともあるか

それは教え子である  
浜崎 亜里沙だった。  
それに滝沢龍一も  
いるようだ。





先生  
わかる？  
生でやっちゃって  
いるんだよ♡

ええ!?

こんな状況にも  
関わらず  
私はそれを聞いて  
興奮せずには  
いられなかった。

ほらほらほら  
どう？  
ウチの腰使い

わ、私と君は  
教師と生徒だ  
こんなことは…  
くう!?

それ以前に  
男と女  
だっつーの♥

ぬおお!?  
だ、駄目だッ  
出るう





あゝん♥  
無茶苦茶  
出てるッ

んおお!!  
くああああ  
ああああ!?

んひいあ  
あああ!?

ドクドク

どう？龍一  
撮れた？

おうバツチリ  
撮れたぜ

ま、まさか  
撮影して  
いるのか!?

私が指名していた  
風俗嬢は滝沢たちの  
仲間だったらしい。  
薬を使い昏睡させ  
弱みを握る。  
それが彼らの  
常套手段なのだろう。

ドク

普段なら金を  
ふんだくろ  
ところだけれど  
他ならぬ先生だ

色々と融通を効かせる。  
それが滝沢の要求だった。  
早い話が奴隷になれと  
いうことだろう。

ほなみに  
頼みたいことが  
あんだわ

なんですか

原田先生は  
よくやって  
くれているぜ

空き教室を  
使わせてくれたり  
俺の仕事を  
手伝ってくれたりしている  
犯罪行為の片棒を  
担ぐようなことまでだ

だからいい思いを  
させてやらねえとな  
飴と鞭ってやつだ

それで私は  
何をすれば？

今度の祝日  
先生の相手を  
してやってくれ

先生に抱かれる  
ということですか

おうそういうことだ  
まあただとは言わない  
これまで俺たちの相手を  
してくれた礼も含めて  
謝礼金を払う  
額は――

そ、そんなに  
頂けるんですか

先生だけではなく  
お前にも  
飴をやらんとな



すまない  
私みたいな冴えない  
中年に抱かれるのは  
不本意だろう

いえ…  
そんなことは  
お互い同じような  
立場ですし…

それに  
しても凄い  
水着だね

これを着て  
先生を誘惑しろ  
そう滝沢さんに  
言われたんです





あッ  
んん!?

先生の愛撫は  
優しくて上手い。  
相手のことは二の次で  
自分の快楽を優先する  
滝沢たちの乱暴な  
行為とはまるで違う。

恥ずかしい  
自然と声  
出てしまいます

んん

んん

んん

んん

大丈夫 恥ずかし  
がらないでいいよ  
リラックスして  
私に身を委ねるんだ

は、はい



んきゅ!?  
ひあああ  
先生、私  
こんなによいのは  
初めてですッ

そうか  
若い娘さんに  
悦んでもらえて  
男冥利に尽きるよ

さて、そろそろ  
滝沢君に送る  
写真を撮ろう

そうですね

私は  
アナログな  
人間なんだ

メールで画像を  
送ったりは  
どうしたらいいか  
分からない

わかりました  
私の携帯で  
写真を撮って  
送信します

あっちにある  
大きい鏡の前で  
お願いします





ッ

ああ!?

先生のが  
挿って  
来ました

私は写真を  
撮るので  
先生は好きに  
してください

わかったよ

ひあ

ビクッ

ビクッ

グイン!



んッ

すい...ん

あんッ

ゴロメ

んッ

先生が動き始める。  
乱暴ではないのに  
身体の芯に  
伝わるような衝撃。

セックスの快樂。  
それと共に  
胸がきゆうきゆうと  
締め付けられるような  
切ない感覚。

キヨくんとこの行為。  
滝沢たちとの行為。  
それらでは  
こんなふうにな  
ったことはない。

ズン

ズン



あ、返信が  
来たよう  
です

なんて書いて  
あるんだい

『中出しされている  
ところを撮影しろ』  
と書いてあります

中出しか…  
いいのかい？

いつもされていきますから  
先生お気になさらずに  
私の中で思いつきり  
射精してください

…送り  
ました

これで  
彼の  
言いつけは  
守った

そうか  
ならば



っあ

目下部くんツ  
目下部くん!!

激し...い  
ひんあん!?  
ひん

い!?

グ  
ミ

グ  
ミ

アッ



出そうだッ

わ、私  
こんな  
…ああ!?

二回り年下の娘  
しかも教え子  
ああ、たまらない

んきゆう!? 凄く  
気持ちいいですう  
先生ッ出してえ

私の膣内に  
思いつきり  
射精してえ!!

グニッ

グニッ

グニッ





はあはあ

先生… 私…

さあ 写真を

ああ…そうだ…  
忘れるところでした  
それくらい  
気持ちよかったです

ゴキウ

ごめんよ  
私も男だ

君は  
魅力的だから  
自分の欲望を  
抑えられない

だから  
思ったままを  
口にする

もっとしたい  
君の中で  
何度も何度も  
果てたいんだ…

わかりました  
好きなので  
私のおまんこを  
使ってください

.....  
.....  
.....  
.....  
.....



ひん!  
ん

それから  
先生は私の中で  
何度も射精した。

あッ

先生は精を放つ度に  
激しく情熱的に  
なっていた。

ギョッ

グッポ

チュポ

グッポ

ギョッ

チュポ  
チュポ



ギッ

はあ...  
はあ...  
は...い先生  
私もイキます  
もう何度イッたか  
わからないですう

フリッ

フリッ

クチュ

ギッ

はあッ  
はあん

出るッ  
また出るよ  
日下部くん





こんなに  
出したのは  
久々だ

よかったよ  
日下部君


それと  
すまなかった  
ちよつと  
無茶をし過ぎた  
ように思う

謝らないで  
ください先生  
私も気持ち  
よかったです

ゼエ

ゼエ

フゥ  
フゥ  
フゥ



数えて  
いなかっただけれど  
先生は  
2桁に近い回数  
射精したと思う。

正直、疲れた。  
けれど心地良い  
まどろみの中に  
いるような  
疲労だった。

キヨくんを避けていた。  
しかし、それも長きに  
渡れば彼を  
心配させてしまう。

だから今日は久々に  
彼とデートを  
することにした。

それでさ  
そいつが

……

ほなみ？

……

なあ  
ほなみってば



え!?あ…ごめん  
聞いてなかった

へ?!いいいや  
何もないよ  
えーつと…

学校で  
何かあった?

引きこもり  
生活が  
長かったせいかな

学校やレポートの  
疲れが抜けて  
ないんだよね

そっか  
マイペースに  
やればいいさ

通信制の学校って  
単位制なんだから  
取る単位を減らしたり  
出来るんじゃないか?

そうだね焦らずに  
マイペースに  
やればいいよね

そうしようかな

ゆっくり休んだ  
方がいい  
今日はもう帰ろう

結局ぼーつとしてしまい  
キヨくんを余計に  
心配させてしまった。

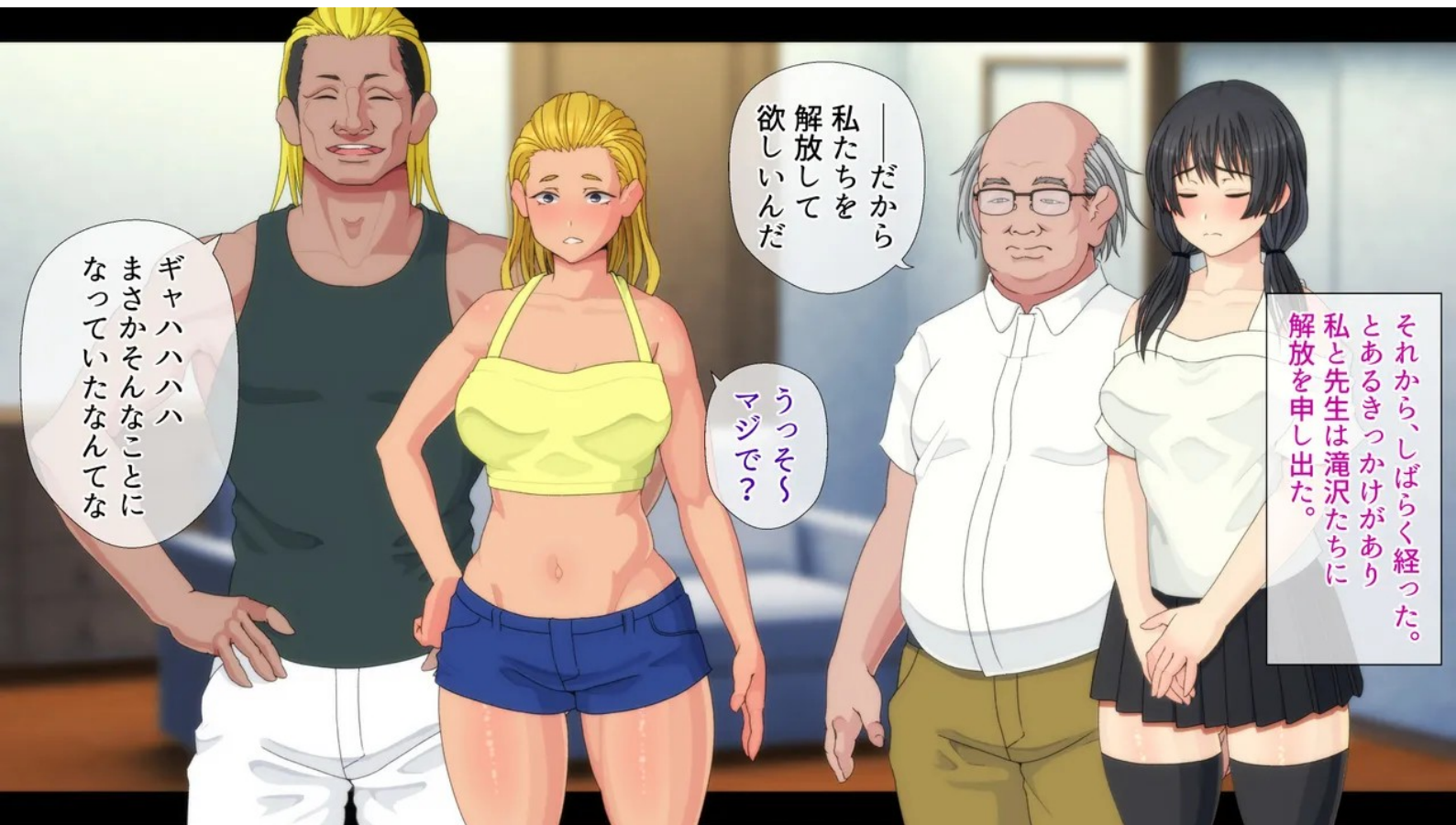
あのさ  
キヨくん

ん？

ごめんね

いいよ

優しくしないでほしい。  
そんなふうになされたら  
後ろめたさで  
押しつぶされてしまう。



ギヤハハハハ  
まさかそんなことにな  
っていたなんてな

—だから  
私たちが  
解放して  
欲しいんだ

うっそ  
マジで？

それから、しばらく経った。  
とあるきっかけがあり  
私と先生は滝沢たちに  
解放を申し出た。



ちゃんと  
けじめを  
つけます

新しいオナホを  
何個か  
確保できている  
だから考えて  
やらんこともない

ほなみアంతタさ  
イケメンの彼氏は  
どうすんの？

久々に心の  
底から笑ったぜ

脅迫材料がなくなるうと  
因縁をつければいいだけだ  
ただで解放する気はねえぜ

君は恐ろしい男だ  
だから後腐れが  
ないようにしたいと  
思っている  
ただとは言わないよ  
私だってそれなりに  
貯金をしてきた

金には不自由して  
ねえからなあ  
別のことがいい

そうだな  
2人には何か  
面白いことを  
してもらいてえな

なんかこう  
現実離れた  
ものが見たい

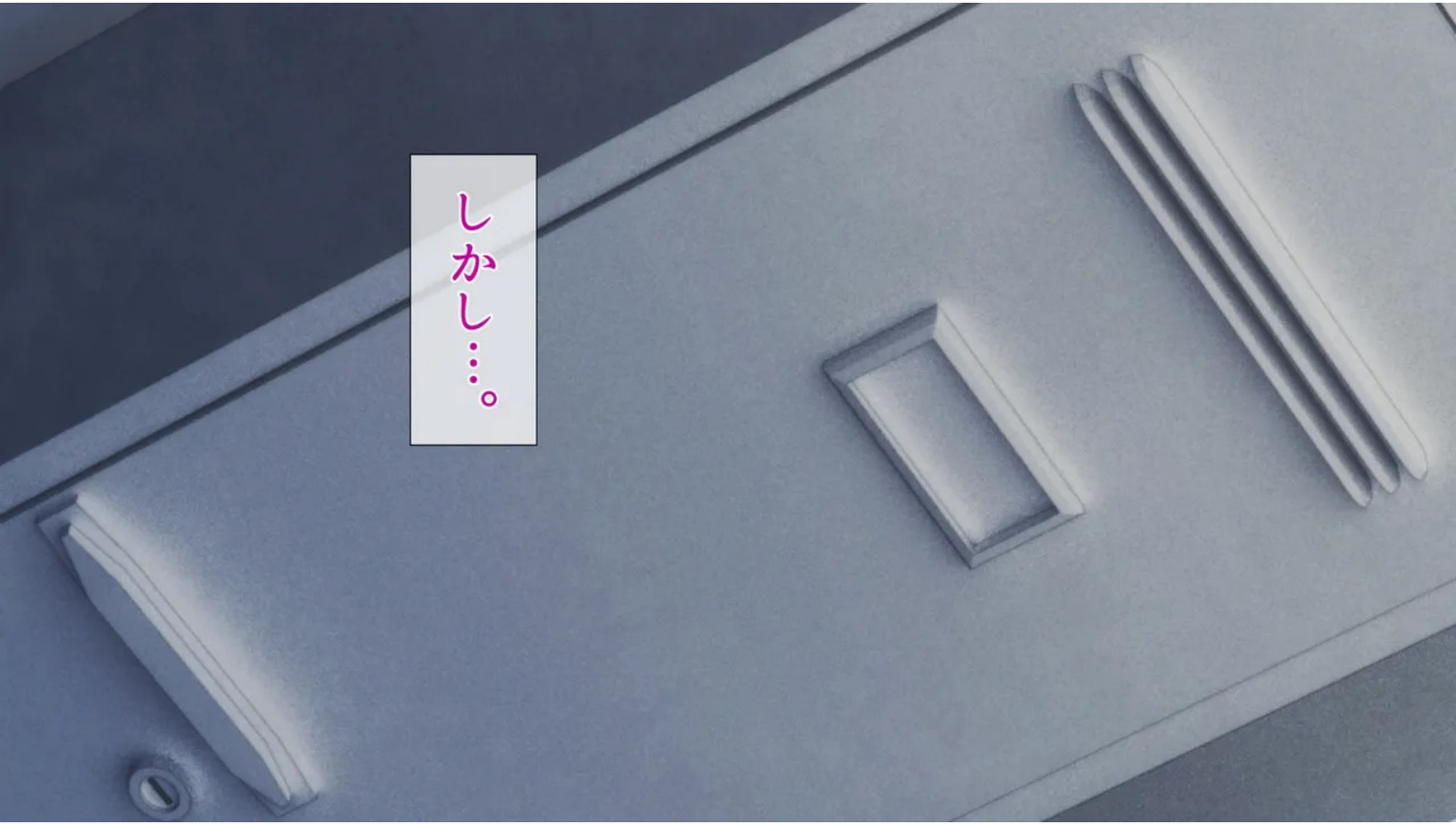
…よし決めた  
2つの条件を  
クリア出来たら  
2人を解放しよう  
条件その1――

教壇に  
立っているのは  
若い男性教諭。

すでに  
あるから  
して

いつもと変わらない  
スクリーニングの授業風景。  
はたから見れば  
そう映るだろう。





しかし……。



滝沢が出した  
1つ目の条件。

「――条件その1。  
来週のスクーリングが  
おあつらえむきだろう」

「午後の授業で  
2-1の教室を  
使うのは  
5時限目のみだ」

「ハッ」

「5時限目の間  
2人とも全裸で  
ロッカーの中に  
入ってる」

~~~~~  
ッ

……ッ

「そして、授業が
終わるまでに
先生はほなみに
中出ししろ」

「ハァッ」



「早めに教室に
来る生徒もいるだろう。
それは亜里沙が
着替えるという理由で
追っ払うからよ」

ツ!?

……

「5時限目、終了時
2人がロッカーから
出てくる時も
同じ手を使う」

「なーに
俺が睨みを
利かせれば
誰だって
従うだろうよ」

「物音が
したりしても
ある程度は
フオローしてやる」



そしてこれは
であるからして

授業中に
ロッカーの中で
私と原田先生は
繋がっている。

この状態が
公になったら
私と先生は
どうなるのだろうか。

先生は職を追われ
私は退学処分。
それだけで
済むのだろうか。
逮捕されるかも
しれない。

考えると
鼓動が早くなって
息が荒くなる。
静かにしなくては
いけないのに。

「ハァッ」

ただ先生に
中出しされなければ
条件を達成できない。

こんな状況でも
先生には動いて
射精してもらわねば
ならない。

ッ!
!?

先生は凄く
興奮している。
それはいつにもまして
固く勃起した
ペニスが物語っていた。

先生はゆるゆると
音をたてないように
腰を動かす。

クハハハ

クハ

クハ

クハ



ガタガタ

ビクッ

!?

!?

ん?
今、ロッカーで
物音が…



わ、わかりました
続きをします

キロツ

授業を続けてくれよ
今やっているところ
ちようどわからなくて
困ってたんだわ

多分だけど
ロッカーの中で
モップが
倒れたんじゃないの



んぐッ

ゴゴゴ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ



やはり
ロッカーから
物音が
それだけではなく
声も聞こえたような

先生
なんの音も
してねえぞ

しかしー

あ？
何度も言わせるなよ
俺がなんの
音もしてねえと
言ってるんだぜ

ギロツ

そ、そうですね

その場にいた誰もが
違和感を感じただろう。
滝沢が凄んだため
誰もが知らぬ振りをした。

……ツ

ツ

授業中、ロッカーの中で
原田先生に中出しされる。
その条件はクリアできた。
残る条件はあと1つ。

ビロビロ



1つ目の条件
クリアおめでとう

2つ目の条件を
達成することが
出来たならば俺たちは
先生とほなみを
解放する

それで諸々の
準備は
出来たか？

出来ているよ
あとは日付だね
私と彼女はいいが
例の彼は？

それは
ほなみが
調整しろ

わかりました

『前回のデートは途中で帰ってしまったからその埋め合わせをしたい』
そう、ほなみからメールが来た。

待ち合わせ場所は彼女が通っている学校の前。

なんでも書類を取りに行かねばならないらしい。

その後、学校の近くにあるという一風変わったカフェに行く予定だ。



君が
道明寺清彦君
だね？

そ、そう
ですけど

俺は日下部さんの
クラスメイトで
滝沢という

彼女から伝言を
預かっているんだ
サプライズがあるから
教室に来て欲しいそうだ

教室？自分は
部外者です
校内に入って
平気なんですか？

問題ない
なんせサプライズ
だからな
そこら辺はぬかりなく
準備してある

今日は学校の
創立記念日
だそうだ

ほなみのクラスメイトに
連れられて校内を歩く。
俺は違和感を感じずには
いられなかった。

「彼にサプライズしたい
だから手伝ってほしい」
それを、ほなみが
この男に頼んだというのか。

そんな頼みを
出来る間柄ならば
友達と呼んで
差支えないだろう。

だが、この柄の悪い男と
ほなみに共通の話題が
あるように思えない。
不穏な空気を感じ
胸が激しく
ざわついている。

この教室だ
先に
入ってるぜ



結婚おめでとう

おめでとう

教室に入って
目に飛び込んできたものは
あまりにも異様な光景で
現実味がなかった。

パチ
パチ

パチ
パチ

パチ
パチ



いい訳するのも嫌だから端的に言うね私、この人が好きでこの人と結婚するの

け、結婚？
そのおっさんと？

な、なんだよこれは…
なんだよその格好は!?

ごめんね
キヨくん

パチ
パチ

パチ
パチ

パチ
パチ

先生と一緒に
いるだけで
凄くドキドキする

キヨくんを
想ってもドキドキしていた
でも、それとは
比べ物にならない

何も言葉が出てこない。
状況の把握。
俺はそれだけで
精一杯だった。

見た目や年齢は
関係ない
私はこのときめきを
大事にしようと思う

本当に
ごめんなさい
どうしても
先生と一緒に居たい

パチ
パチ

パチ
パチ



パチ
パチ


俺、帰るわ
.....

でも、ひとつだけ
わかったことがある。
俺はまた気が付けなかった。
多分、そういうことだろう。

何故、彼女が
こんなふうになっ
てしまったのか
見当もつかなかった。

酷い耳鳴りがする。
気分が悪い。


パチ
パチ



ホテルで先生に抱かれた後
私たちは連絡先を交換した。
そして何度も会って
その度に身体を重ねた。

キヨくんは
私のことを
想ってくれた。
けれど彼との
エッチで私は
女としての自信を
失った。

滝沢たちは
私を貪るように犯した。
そこに愛はなく
物の様に扱われた。



先生は私に優しくしてくれるし
エッチも凄い。
決して見た目はよくないけれど
私はこの人しかいないと思った。
パズルのピースがぴったりはまる。
そんな感覚がしたのだ。

私、先生のことが
好き、先生と
一緒にいたい

.....

先生は最初、私の言葉を
真に受けなかった。
でも私の想いは
徐々に伝わっていった。

解放を申し出た
あの日には先生と
結婚することを
決意していた。

…という訳です
それから色々
話し合っ
私たちは一緒に
なることにしました

は…？一緒になる？
結婚するってことか？
マジで言うてんの？

そうです
私の両親にも
報告しました
了承は得られませ
んでしたが…
駆け落ちしてでも
一緒になるつもりです

これで日下部君に対する
脅迫は意味をなさない
私の動画に関しても
好きにしてもらっ
て構わない

動画で職を
失ったとしても
日下部君と一緒に
いれるのならば
それでいい

だから私たちを
解放して
欲しいんだ

さて仕切り直しだ
新郎は新婦にハメて
中出ししまくる

その間、新婦は
まんこ以外で俺たちの
ザーメンを受けきる
それで条件は
クリアとする

滝沢君
正直、君を
恨んでいた

でも君のおかげで
ほなみと
出会うことが出来た
今では
感謝すらしているよ

パチ
パチ

パチ
パチ

そして
この狂った結婚式が
滝澤の提示した
2つ目の条件。
キョくんを呼び出して
けじめをつける。
それも条件に入っていた。

挿ったよ
ほなみ

ああ、先生
邦夫さん

ズブズブ

よっしゃ
まずはアナルからだ
お前ら一列に並べ
花嫁のケツを
かっぼじってやろうぜ





ぴい!?
お尻に…ああ

私たちの門出を
彼らは彼らなりに
祝ってくれている

う、うん
そうだね

フハハ

ガンガン
掘ってやるぜ
覚悟しろよお



簡易とは言え
結婚式
そんな場で
花嫁のケツに
チンポぶち込んで
思いつき腰を振る

こんなプレイは
そうそう出来ない
ああ、最高だ！

前から
後ろからも
突き上げ
られてるう

ハニハニ

ズグ
ズグ

ゴボツ

ハニ

ハニ

ハニ

ハニ

ハニ



たまらねえ
もう出すぞ!!
んおおお!!?

にゃあ!?
浣腸みたいにいっぱい出てるツ!?

んんん

んんん



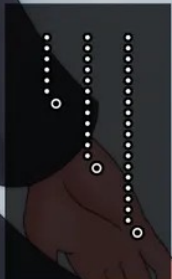
おほお!?きたあ
これで5本目ツ

アナルを
ほじくり
返してやる

ほなみ!
ほなみ!!
愛しているよ

おっさんに
負けてられねえ
気張るぜ!!

フイイ





おほお!!

ひゃ!?

凄いよお
お尻が
グボグボ
いつてるう

むう私も若い者に
負けてられん
ほなみ
激しくするよ

ハハハハ

ズッ

ズッ

グボッ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ



ひひやあああ
あああああ!
2本のおちんちんが
ぴよんぴよんと
跳ねているみたい!!
すんごいよおおおお!!

んが!?
出るッ

私も
出すよ

先生、出して
そして私を
孕ませてえ

ハハハ

ズグ

ズグ

グポッ

さ、流石に
お尻が
ひりひりするう

そうか
ならばケツは
勘弁してやる

しかし、こちとら
どエロい光景を
見せられて
マラがギンギンなんだ
出したりねえ
次はぶっかけだ

んんん



ザーメンドレスか
そりゃいい
着せてやろうぜ

ああ!?また
挿ってきたあ

白いザーメン
ドレスに
お色直しと
いこうじゃないか

スポン

スポン

グチョ

スポン

スポン

スポン

スポン



ああ気持ちいい
私、先生の
ちんぼなしの
生活なんて
考えられません

こんなエロい
花嫁が居れば
先生は生涯現役
だろうよ

ほなみと出会って
性欲が増している
まるで若返った
ようだ

イクぞろ
そろそろだ

お色直し
してやんよお

パッパ

パッパ

グチョ



ピュル

ピュ

ピュ

ピュル

ひや!?
きた!

くっくっくっ

白濁に染まれ

みんなの
精液がッ
んふうん!?

ん!?
っ

ピュル



とても
綺麗だ
ほなみ

本当？先生に
褒めて貰えて
凄く嬉しい

結婚は
諦めていた

あひっ

ドロォ〜

スポン

グチョ

スポン

ドロォ

でも、こんなに
素敵でエッチな
花嫁が私みたいな
冴えない中年の
ところに
来てくれた

先生！先生！
好き！大好き！

我が世の春は
君と共に過ごす
これから始まる
ほなみ私は幸せだ

私もです
先生ッ

んっ
あひい

夜もたつぷり
愛し合おう
だから今は
これで打ち
止めにするよ

うんッ
結婚初夜も
可愛がって

パッパ

グチョ

パッパ





こうして私たちは
結ばれた。
色々あったけれど
今、私は
とつても幸せだ。

おめでとう

末永く
お幸せに

おわり

ドロォ〜

ドロォ

ゴボッ

ドロォ







































































